

金田町人の動き

(10月1日現在)

世帯数	2,388		
人口	9,023		
男	4,420	女	4,603
出生	11	死亡	3
転入	27	転出	16

かなだ

第144号
 金 田 町 報
 発行所 金田町役場総務課
 編集兼 植 高 芳 巳
 発行人
 印刷所 栗 林 印 刷 所
 電話 (09474) ② 0506番

同和教育は

町ぐるみで (1)

中央公民館

近代日本にある筈のない差別事象が、いまだにあらちこちで起っている今日、同和問題についての正しい認識を、なお一層深めていただきたく、今月より連載いたしますので、差別のない明るい町づくり、地域づくりのためにご活用ねがいします。

1、差別と区別

差別とは、ちがわせる、分けへだてるなど、比較すべきでないことを分別するなど、基本的人権にかかわる問題をしむけることを差別といっています。

※基本的人権とは、人間が人間として尊重されなければならぬ生存権や、自由で平等な人間本来の権利のことで、何人もこれを侵かすことのできない、また侵されてはならない永久の権利とするものであります。区別とは、いわれのある違

2、一般差別と部落差別

一般差別とは、私生活の中で差別と

区別はどの様な形で現われているかを考えてみますと性別に起因するもの、年齢のちがいに起因するもの、職業のちがいに起因するもの、美しい、醜いに起因するもの、貧富の差によるもの、能力の差によるもの、力の強弱によるもの、身体の障害によるもの、家柄や血すじのちがいが養子や嫁に対するものなどと、まだまだ数限りなくありますが、このような事象の中に区別と差別が共

存しています。例えば、男女は当然区別される条件を備えていますが、男が女より偉い者とする固定された観念を持って人を評価する思想がある時、それは差別になります。また年令に応じて区別することはできるが、その年令によって、若い者はつまらないとか、老人はだめな人とか、子供じやないか等ということで、その人を人並みでないとする思想があるとき、それは差別であります。

男には男の特性があり、女には女の特性があるというものであり、若い者には若者の特性があり、老人には老人の特性があるので、その特性は相互に理解し合わなければならない問題であって、そのことを原因にして人間の価値についての評価がなされるものではないとあります。

人類の歴史の過程において人間の生活が、共同化されるようになった頃から区別が明らかになり、戦争による勝者と敗者の関係の中で差別が発生してきました。こうしておこる差別感を、一般差別といっています。一般差別の歴史は日本歴史始まって以来長い歴史をもち、その長い歴史の中で差別の存在を意識すること

が出来ない状態の中で生活していることを改めて知らなければなりません。部落差別は、一般差別の思想の上に立って、徳川時代中期に当時の政治権力により施策遂行上、人間を無視し、予断と偏見を加えて制度化し、構成されたのが部落差別であります。この現実の上に立って差別の学習を行なうためには、差別が集中している部落の実態に学び、差別の実態の学習を深めることにより、自らが差別を受け、また自らが差別者であることの自覚をよびさまし、差別行為が罪悪行為であることと理解が、実感とならなければ差別問題の解消はあり得ないと思えます。



金田町消防団長 船津重夫氏

勲五等瑞宝章を授与さる

先生には十一月三日文化の日のご披露申し上げます。この日は全く先生の高潔なる人格と社会に貢献された功績の賜であり、全町民と共に叙勲の恩典に浴しました。にお祝い申し上げます。

12月のこよみと行事

和名 師走(しわす) 年末で僧が忙しく走りまわるので師走、俗に極月の字を用いて「しわす」ともいう。

1日	歳末たすけあい運動
4日	人権週間
5日	衆議院議員選挙
8日	針供養
22日	冬至・心配ごと相談
25日	クリスマス
28日	官庁御用納め
31日	大みそか除夜の鐘

(次号につづく)